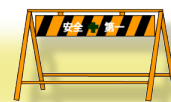




安全講習会 in 舞スタジオ



設計監理課の3名が講義を行いました。

5月13日、舞スタジオで安全講習会が開催されました。過去の事故やヒヤリハットの分析、夏場の健康監視、野外現場での風・雷対策の3項目が主な内容です。

今回は協力会社の方々にもご参加いただきましたので、社外からのご意見もいただくことができ、とても有意義な時間になったのではないかと思います。大阪、東京とももう野外現場が始まっています。体調管理と、天候対策を万全にしてこの夏を乗り切りましょう！

もし、近くで雷が鳴ったら...

まだ多くの方が、雷についての正しい知識を持っていません！いざという時、まず自分の身を守れるように、雷雲が来ても安全な場所を覚えておきましょう。

最も安全な場所は車の中や建物の中です。

ルーフがあるステージの上も比較的安全です。

周囲に木しか無い場合は、図3-4のように木の幹から距離を取り、小さくしゃがんで雷雲が過ぎるのを待つようにしましょう。

テントや建物の軒下は危険ですので注意しましょう！

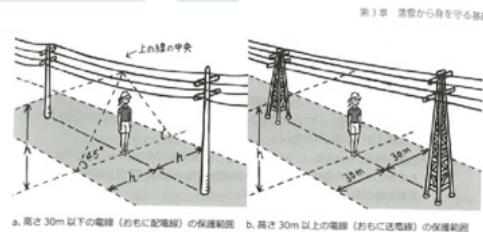


図3-3. 比較的安全性の高い場所（配電線・送電線の保護範囲）
電線は絶縁体と同じ役割をする。そのため、電柱や鉄塔の2m以内には近づかない。

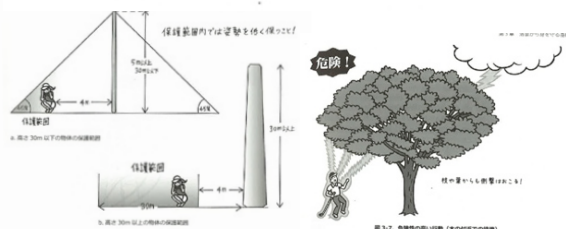


図3-4. 比較的安全性の高い場所（高さ5m以上の樹木の保護範囲）
樹木の幹は絶縁体と同じ役割をする。そのため、樹木の幹の2m以内には近づかない。

講習会を終えて。 東京 営業課新人の猪俣さんに聞きました！



「ステージを作り上げていく過程の安全に関することを一日かけて学ばせていただいた日でした。実際の事例をもとに風や雷などの自然災害への対応や恐ろしさについてお話を聞きました。まだイメージができないことも多く、難しい話もありましたが、安全を守るということに対して、作業をされる方全員が一丸となって取り組まれていると感じました。皆さんの姿勢を見習い、今後の仕事に臨んでいこうと思いました。」



！ 避難訓練 ！

5月16日に避難訓練開催致しました。10時の朝礼終了後、10時30分に火事が起きたと想定し、建物内非常階段から外に脱出。東京本社の避難所にあたる青南小学校まで、道のりを確認しながら移動致しました。

皆さんは普段自分が生活している地域で災害が起きた時、どこに避難すれば良いかご存知でしょうか？この機会に是非、生活している街、頻繁に遊びに行く街等での避難所を確認しておいてみてはいかがでしょうか？